



これからの伊丹の教育



Well-beingにつながる 未来につながる みんなでつながる 伊丹の教育

— 子ども・教員・保護者・地域の方々がビジョンを共有し、それぞれがつながりながら、幸せを感じられる場を学校園所を中心として生涯学習へと広げていきます —

伊丹の子どもたちに育みたい力

未来からの留学生である子どもたちに、**困難に立ち向かう力「レジリエンス」**や情報を鵜呑みにせず自分で判断し**自己決定する力**、人間ならではの**創造力**や**コミュニケーション力**の育成を目指します



伊丹市教育長 太田 洋子

カラフルな教育とは

多様な子どもたちが教室にいることを前提とし、教室に集う者同士がちがいを認めながら、そのちがいを豊かさにつなげる教育。また、教室を飛び出して、他の地域や文化ともつながりながら、ちがいを豊かさにつなげる視点を大切にしたい教育

カラフルな教育

重点1. 多様化する子どもたちに対応する未来志向の教育

多様化する子どもたちに対応する「カラフルな教育」を提供

- ・これまでの一斉指導が果たしてきた役割を踏まえつつ、多様な教育ニーズに対応するため、集団での指導を基盤にしなが、1人1台端末の活用も含め、子どもたちの持つ個性や能力、興味関心に応じて多様で柔軟な学び方を支援していく「カラフルな教育」を提供します
- ・教員同士が孤立しないように、所属にとらわれず互いのつながりを作りながら、共に教育課題に対応して学び続ける**ラーニング・コミュニティ**をデジタルの活用などにより創造します

重点2. 「縦の連携」の推進と生活習慣の改善

接続期における段差を軽減する「縦の連携」の推進

- ・公私を問わず全ての幼児教育施設及び小学校で「**伊丹市架け橋期のカリキュラム**」を共有し、子どもたちの一貫した育ちに取り組みます
- ・これまでの行事などでの小中連携からさらに進め、**9年間を見通したカリキュラム**でつながる小中一貫教育を進めます
- ・学校運営協議会との連携のもと、地域の特色を生かし、地域に誇れる学校づくりに取り組みます



睡眠を中心とした幼少期からの生活習慣の確立

- ・家庭や就学前施設と連携し、幼児期の睡眠習慣等の改善に向けた啓発に取り組みます
  - ・家庭と連携して児童生徒の生活習慣の改善を図ります
- \*厚生労働省における「健康づくりのための睡眠ガイド2023」には、子どもの睡眠不足による健康リスクや子どもの睡眠時間の目安、各発達段階における睡眠時間確保の工夫などが明記されています



重点3. 「横の連携」の充実と生涯学習社会の構築

学校と地域をつなぐ「横の連携」の充実と、生涯学習社会の構築を目指した学びの進行

- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進をさらに進めます
- ・積極的に情報を発信し**学校・家庭・地域総がかりの教育**を推進します
- ・社会教育やスポーツ活動といった生涯学習を通じて全ての市民が交流し、生きがいをもって学び活動できるよう支援します



総がかりの教育の推進

令和7年度の教育委員会の主な取組

■不登校対策

「チームによる不登校対策」の充実を図るとともに、「メンタルフレンドオンライン」を開設し、**オンラインによる子どもたちの支援**に取り組みます。



■子育て支援の充実

**病児・病後児保育の利用定員増**や**予約システム**の導入により、利便性向上を図ります。  
**こども誰でも通園制度**を試行的に実施します。

保育所等に在籍していない満3歳未満児童を保育所等に、就労要件等を問わず一定時間通園させる制度

■スポーツ施設の空調整備

令和8年度中に**伊丹スポーツセンター・緑ヶ丘体育館・武道館**で冷暖房が利用できるよう整備を進めます。

